

射水保護司会設立 10 周年記念事業

「保護観察を考えるシンポジウム」開催



▲体験発表する江尻保護司

いみずこうせいほし

射水更生保護

発行編集 射水保護司会
会長 五十嵐 繁久

TEL 0766-86-0123
〒939-0284
射水市新開発410番1
射水市福祉保健部
社会福祉課内

地域で支える立ち直り

平成28年10月23日高周波文化ホール(新湊中央文化会館)で、「保護観察を考えるシンポジウム」を開催しました。

平成17年11月、旧新湊市と旧射水郡が合併し、射水市が誕生しました。それに伴い、翌18年4月、旧新湊保護司会と旧射水保護司会が統合し、新たな射水保護司会が設立されました。本年10周年を迎え、記念事業としてシンポジウムを開催しました。

はじめに五十嵐繁久射水保護司会長の開会あいさつ、続いて夏野元志射水市長、大利文雄富山保護観察所長のあいさつがありました。

基調講演には、尾田清貴日本大学法学部教授をお招きし、「保護観察の新たな展開について」と題してお話をいただきました。今年6月に施行された「刑の一部執行猶予制度」について説明された後、今後、保護司に期待される役割、サポートセンターの活用や保護司会と自治体・医療や福祉の専門家と連携する必要性を説かれました。

次に、林弥生保護司は「保護司活動の体験から」、谷川義昭保

護司は「保護観察青少年への対応」、江尻昭保護司は「保護観察対象者への就労支援」について体験事例を発表しました。

休憩の後、「これからの保護観察に向けて」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。コーディネーターは瀧内一雄保護司、パネラーとして体験事例発表者3名がそれぞれの立場で現状報告や問題提起を行い、尾田清貴教授から御助言をいただきました。

満席の会場では、熱心にメモを取る姿もありました。パネルディスカッションの終わりには、道古正子射水市更生保護女性会長の会場からの発言もありました。

松長ますみ保護司が大会宣言文を読み上げ、会場が熱い拍手に包まれました。

最後に、江尻昭射水保護司会副会長の閉会のあいさつがあり、「保護観察を考えるシンポジウム」は無事終了しました。

「更生保護サポートセンター射水」 月曜日から金曜日/午前9:30~午後3:30まで

射水市役所大門庁舎 車庫棟2階
〒939-0234 射水市二〇1081番地

電話：0766 (52) 7696
FAX：0766 (52) 7697

E-mail: imizuhogoshikai@gmail.com
ホームページ URL: hogosi.com

※保護司が交代で常駐しています。

保護観察を考える シンポジウム



▲左から 夏野元志射水市長
大利文雄富山保護観察所長

射水保護司会 十周年記念事業
保護観察を考えるシンポジウム
『地域で支える立ち直り』

体験発表
「保護司活動の体験から」 林 弥生
「保護観察青少年への対応」 谷川 義昭
「保護観察対象者への就労支援」 江尻 昭

保護観察の新たな展開について
日本大学法学部教授 尾田 清貴先生



▲開会のあいさつをする
五十嵐繁久射水保護司会長

▲左から 夏野元志射水市長・大利文雄富山保護観察所長・長井忍射水市教育委員会教育長・佐藤寛俊射水警察署生活安全課長・米澤治夫富山県保護司会連合会長・針山節子富山県更生保護女性連盟会長

▲(右) 山本修射水地区更生保護協力雇用主会長
(左) 道古正子射水市更生保護女性会長



▲スタッフには更生保護女性会のみなさんも



▲受付風景

▼会場風景



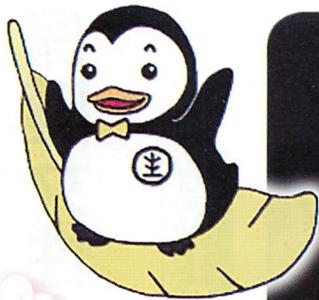
▲会員全員一人一役、真剣に打合せ





▲尾田清貴氏

▲尾田清貴氏基調講演「保護観察の新たな展開について」



地域で
支える
立ち直り



▲パネルディスカッション

御来賓の皆様、尾田清隆教授、県内外からご来場くださった多くの皆様に、心より深くお礼申し上げます。ありがとうございます。

宣言文

- 一 私たちは、サポートセンターを、更生保護活動の情報交換拠点として有効活用します。
- 一 私たちは、未来ある青少年を、万引き・薬物乱用・賭博等の犯罪・非行から守るため、あらゆる機会を活用し、未然防止に努めます。
- 一 私たちは、地域ぐるみで再犯防止に努め、関係機関・団体との連携強化を図りながら、社会復帰への環境整備に努めます。

以上、宣言します。

平成28年10月23日
射水保護司会



▲決意も新たに、宣言文の読みあげ

射水市更生保護女性会だより

『設立10周年に想う』

会長 道古 正子

射水市更生保護女性会も10周年を迎えることができました。

これも偏に関係各位のご指導と先輩の方々や会員皆さまのご尽力、ご協力のお陰と厚く御礼申し上げます。

射水保護司会も設立10周年を迎えられ10月23日に記念事業として『保護観察を考えるシンポジウム』を盛大に開催されました。更生保護女性会も実行委員会に加えていただき、委員の皆さまが保護司及び保護観察の取り組みについて大変熱心に且つ真摯にこの難題に取り組みでおられる姿を目の当たりにして、すばらしい保護司会が運営されていることに感心いたしました。10周年という節目の年に参加させていただき大変参考になりました。そして、共に更生保護の問題点や今後の在り方を考える機会を与えていただいたことに深く感謝を申し上げます。

私達は、これを機に「ほっとけない」の精神と女性ならではの細やかな心遣いにより、これからも地域社会や関係機関・関係団体と一層の連携を深めて、保護司会と協力・連携しながら、更に「犯罪のない明るい社会づくり」を目指してまいります。

「2016 子育てフェスティバルin いみず」に参加!



平成28年11月23日(祝・水)、射水市小杉社会福祉会館・大集会室にて「子育て・子育て」を応援している14団体が協力・連携しながら一体となって、子育て支援の充実を図っていききたいと、『手をつなごう! みんなで子育て!』をテーマに「2016 子育てフェスティバルin いみず」が開催されました。射水市更生保護女性会も活動紹介のブースでワークシヨップ

「おえかきホゴちゃん」を実施し、「更生ペンギンのホゴちゃん」「更生ペンギンのサラちゃん」のぬいぐるみを囲んで約100名の子供たちにお絵かきをしてもらいました。子どもがお絵かき中に保護者には、「社会を明るくする運動」認知度の広報のため、ポスターやリーフレット等を活用して説明しました。



更生保護のマスコットキャラクター

「更生ペンギンのホゴちゃん」



★ホゴちゃんとは?

◎立ち直ろうとしている人をいつも温かく見守り、犯罪や非行のない幸せな社会を願う心優しいペンギン。チャームポイントは、胸の「生きるマーク」。

平成28年度事業の概要 (平成28年1月～2月)

- 1月8日 富山養得園へ給食活動 (小杉)
- 1月15日 富山養得園へ給食活動 (大島・下)
- 1月22日 富山養得園へ給食活動 (大門)
- 1月24日 県更生保護女性連盟理事会
- 1月27日 市更生保護女性会役員会
- 2月初旬 市更生保護女性会理事会
- 2月下旬 市更生保護女性会全体研修会

受賞おめでとうございます

- ◆法務大臣感謝状 土居 アツ子
- ◆中部地方更生保護委員会 委員長感謝状 西野 慶子
- ◆中部地方更生保護女性連盟 会長表彰 小井 孝子
- ◆富山保護観察所長感謝状 竹内 美津子
- 田保 茂子
- 中埜 雅子
- 小杉 満寿美

養得園給食活動に参加して

波 政枝

7月30日、七美地区、本江地区、海老江地区の理事3人で給食作りに行きました。

今回は11人分です。いつもは公民館に集まって作るのですが、この日は3人とも子どもの病気や、カルチャー教室の指導で、午前中は集まることが不可能になり、仕方なく惣菜屋さん頼んでおかずをつくってもらいました。御飯とおつゆは養得園で作り、漬物は各家庭のナスやきゅうりを持参して盛りつけました。

給食を作り終え次第、事務室へ入り、園長さんから最近の園生の状況や、犯罪をする人が少なくなってきたことをうかがいました。

また、園生からは、「いつもおいしい給食をありがとうございます。」と、感謝の言葉をいただきました。

帰り道「養得園を退園しても誘惑に負けないでほしいね。」と話しながら帰途につきました。



県更生保護女性連盟 会員研修会に参加

平成28年11月29日 高志会館

「ワークショップについて」

講師 鈴木 大輔

富山保護観察所監察官

ワークショップ

テーマ① 関係機関との連携・協働について

テーマ② 地区会の充実にについて

楽しい雰囲気の中で、参加者全員が多くの意見を出し合い、その中からより良い意見が導き出され、他団体との連携意識が更に高まった研修会でした。



理事研修会で学ぶ

小井 孝子

平成28年10月28日、参加者25名でバスに乗りました。

まず、射水市新湊博物館を見学しました。国指定重要文化財「高樹文庫」資料を活用し、市民の教育と芸術文化の向上に役立つことを目的とされているそうです。学芸員の松山氏による丁寧な説明により楽しく学ぶことができました。

初めて来館した方もいらっしやいましたが、博物館に親しみを持たれたことと思います。企画展で小杉町出身の「郷倉千朝展」も鑑賞し感動しました。

次に、作道にある里親本江ホーム（小規模住居型児童養育事業所）を訪問しました。本江さんご夫婦と、お世話されている若い女性の方に出迎えたとき、自宅を改築されたそうで、暖かい雰囲気のなかでお茶をいただきながらお話をうかがいました。

社会的養護とは「社会が責任を持って子どもの保護や養育を行うこと。里親制度とは「何らかの理由で家庭での養育が困難になった、又は受けられなくなった子ども等に、暖かい愛情と正しい理解をもった家庭環境の下で養育を行うこと。」

本江ホームでは、虐待を受けたりいろんな理由で親と別れて暮らす子どもたち、不安や悲しみ、孤独感を抱えた子どもたちを預かり、家族としての生活をするこ

とで、安心感、自己肯定感、信頼関係が育ってほしいと願っているそうです。心のふれあいを大切にし、力いっぱい抱きしめてあげたり時には叱ったりしていると、御苦労を話してくださいました。

親と一緒にいられない子、預けなければならぬ親の事情、それぞれ辛く苦しいこともあるだろうなと思いました。お話の中で施設から学校に通う子で、友達からの言葉で傷つくことがあると聞きました。家庭では、子どもの前で暖かい思いやりのある話をしてほしいですね。それぞれの立場を少しでも理解し、思いやりを持って人と接することを、地域の中でも広げていきましょう。ホームでの見聞は会員の皆さんの心を大きく動かされた様子でした。

午後から、旧小杉町の下条川沿にある竹内源造記念館に行きました。

昭和初期の美しい建物で、はじめ町役場でしたが後に図書館、その後「鏝絵作家竹内源造記念館」として親しまれています。館内は昔の様子を残したままで、源造の鏝絵が展示されていました。玄関を入ると正面に、日本一と言われている幅18メートルもある双龍が出迎え、迫力に感嘆の声が上がりました。見学の後、簡単鏝絵に挑戦し、それぞれのきれいな作品に満足の日でした。

射水市更生保護女性会だより

第66回「社会を明るくする運動」射水市作品コンテスト 二部門優秀賞 33名を表彰

平成28年11月26日アイザック小杉文化ホールラポールで、射水市作品コンテストの表彰式が開催されました。

射水市作品コンテストは、毎年「社会を明るくする運動」事業の一環として、射水市推進委員会と射水保護司会の学校部会が中心となり実施し、市内の小中学生を対象に、日常の家庭生活、学校生活の中で体験したことをもとに、犯罪・非行のない地域社会づくりや犯罪・非行をした人の立ち直りについて考えたこと、感じたことなどを題材として募集しています。



本年は1779点(作文167点、ポスター65点、標語547点)もの応募をいただきました。厳正なる審査の結果優秀賞33名を決定しました。大利文雄富山保護観察所長、射水市教育委員会杉本茂事務局長、射水市共同募金会門田晋会長、青少年育成射水市民会議野上克裕会長、射水市更生保護女性会道古正子会長にご参列いただき、夏野元志射水市推進委員長から受賞者一人一人に賞状が授与されました。

表彰式の終了後、特別出演として、去る7月5日に開催された富山県中学生生活体験発表大会に射水市代表として出場された新湊南部中学校3年生の上田俊斗(うへだしゅんと)さんに発表していただきました。「信じることは生きること」と題して生徒会役員として活動した体験から、人に信じてもらう努力を重ね学んだことを発表し、県大会では見事富山保護観察所長賞に輝きました。

また作文部門の優秀作品の中から、遠藤珠月さん、越後菜々美さん、青井海夢さんの3作品を射水市推薦作品として富山県実施委員会に提出し、会場で発表していただきました。
本コンテストの優秀作品は、毎年中学生生活体験発表大会優秀者の作文と共に作品集を製作し、関係諸機関・団体に配布させていただきます。



優秀賞 標語の部

新湊小学校	5年	泉田 美波
作道小学校	5年	坂下 功真
堀岡小学校	4年	中島 康顕
東明小学校	1年	堀川 幹太
小杉小学校	4年	黒瀬 創太
金山小学校	6年	長谷川 幸輝
歌の森小学校	4年	藤田 愛未
中太閤山小学校	5年	芹川 璃空
下村小学校	6年	和藤 桃子
大門小学校	4年	大橋 司
大島小学校	6年	森田 莉央
新湊中学校	2年	高岡 由貴
射北中学校	3年	井出 莉咲

優秀賞 ポスターの部

放生津小学校	4年	海老江 梨乃空
塚原小学校	5年	塚原 絵更
歌の森小学校	5年	海内 珠乃
中太閤山小学校	5年	橋場 さくら
下村小学校	6年	藍口 郁
大門中学校	5年	中西 陸
小杉中学校	3年	石黒 良華
小杉中学校	1年	安達 智香
新湊小学校	6年	安川 彩風
作道小学校	6年	高木 真奈佳
射水市作品コンテスト	6年	フェルナンデス アイカズミ、エガラ

優秀賞 作文の部

太閤山小学校	6年	遠藤 珠月
大島小学校	6年	越後 菜々美
中太閤山小学校	6年	仕切 優那泉
作道小学校	6年	宮平 あいこ
堀岡小学校	6年	櫻井 亜仁沙
大門中学校	2年	青井 海夢
小杉南中学校	2年	川辺 沙希
新湊中学校	3年	菅谷 葵
射北中学校	1年	水門 裕策

平成28年度 授章・受彰者紹介 (順不同・敬称略)

- ◆藍綬褒章
 - 三宅 陸夫
- 富山県知事表彰
 - 新中 孝子
- 中部地方更生保護委員会委員長表彰
 - 旭 邦彦
- 中部地方保護司連盟会長表彰
 - 熊谷 正克
 - 澤 英明
 - 高島 辰夫
 - 山本 雅幸
- 富山保護観察所長表彰
 - 坂井 敏政
 - 島田 公志
 - 山崎 次平
- 富山保護観察所長感謝状
 - 佐賀あさ子
 - 富岡 民生
 - 廣瀬 秀昭
- (家族功労者)
 - 石村 正男
 - 境 万智子
- 富山県保護司会連合会会長表彰
 - 小杉 一彦
 - 佐伯日登美
- 市政功労表彰
 - 多賀 正夫
- 射水市社会福祉協議会会長表彰
 - 藍口 信子
 - 境 文夫

各部会活動報告

◆ 総務部会

今年度は射水保護司会および更生保護関係団体発足10周年の大きな節目を迎え、『保護観察を考えるシンポジウム』の成功に向けて会員一同が一丸となって取り組んだことが特筆されます。関係各位のご支援と併せ、感謝申し上げます。

下半期は年度末までに総務部会2回、三役会6回を開催し、新たな10年に向けてのスタートをしたいと思えます。

◆ 研修部会

1. 研修部会の活動状況

活動状況…年4回の定例研修会・年2回地域処遇会議・7月公開研修会・県外研修(シンポジウム開催の為本年は中止)を実施。

2. 研修部会の留意すべき点について

- (1) 保護司の研修会は、保護司本来の目的を達成するための「学びの場」であること。
- (2) 更生保護の状況が変化する中、適確な情報を提供すること。
- (3) 現場の保護司が求める研修内容であること。
- (4) 研修会の司会・書記などの役割分担を研修部全員で行う。

3. 自主研修の進め方について

(1) 保護司の参加負担を考え、定例研修

後に行く。
(2) なるべく保護司自身が講師を務め自分の考えを発表する。

4. 今後の定例研修希望テーマについて

保護観察に必要な技術習得講義

5. 今後の研修のあり方について

(1) 「保護司の研修のあり方」を考える会議の検討。

(2) 研修会は、各地区で行っているが、

県内の広域的(地域ブロック)に分けて行ってもいいのではないのか。

(3) 定例研修は保護司を同一的に見えないか。段階的(専門的)な研修会があってもよいのではないか。もっと聴衆分析を行うべきである。

(4) 特別研修・処遇基礎力強化研修・指導力強化研修など内容の充実、対象者の拡大を考えて保護司の保護観察力を向上していくことが重要です。

◆ 地域活動部会

地域活動部会の皆様には、「保護観察を考えるシンポジウム」において、研修部会の方々等と会場設営及び駐車場担当として活躍いただき、誠に有難うございました。当日はお茶会等で

駐車が混雑し、念のために借りておりました中央公園の駐車場もほぼ埋ま

る中、自前の赤色誘導灯を使う等整理

いただき、苦情もなくスムーズに無事

故で終わることができました。特に数名の方は、昼食をとる時間も遅れ、会場に入ってもらったことも出来ず申し訳

なく思っております。サポートセンターにDVDを保管してありますので、ごゆっくりご鑑賞ください。

◆ 学校部会

11月26日(土)、小杉文化ホール「ラ・

ポール」で第66回「社会を明るくする運動作品コンテスト」の表彰式がありました。

市内小・中学校から応募された作文

ポスター、標語から優秀作品33点が選

ばれ、射水市推進委員長の夏野元志市長より賞状と副賞が贈られました。当日、会場前のボードに優秀作品のポスターと標語を掲示し、多くの方に作品

を見てもらえるようにしました。ボードの前で受賞者の方や一般の来場者の方が作品に見入る姿が印象的でした。

作品コンテストは「社会を明るくする運動」の一環として、毎年実施しています。市内小・中学校児童生徒の一人ひとりが作品応募を通して、非行や犯罪のない明るい社会づくりについて、考えるきっかけになることを願っています。

また、小学校で実施している薬物乱用防止教室を継続して行い、薬物は「絶対ダメ!」の意識を高めていくことも大切なことと考えています。

部会の活動にご支援ご協力をいただいた皆様に、心よりお礼を申し上げます。

◆ 広報部会

1月19日 県「広報部会」編集委員会

1月27日 県「広報部会」協議会

2月 「射水更生保護」22号発行

◆ 協力組織部会



犯罪や非行をした人を雇用し、立ち直りを助ける「協力雇用主」を募集しています。

「協力雇用主」を募集しています。犯罪・非行の前歴のために定職に就くことが容易でない刑務所出所者等を、その事情を理解した上で雇用し、改善更生に協力する民間の事業主の方々です。

法務大臣感謝状受彰

山本修さん

射水地区更生保護協力雇用主会の山本修会長は1月12日、法務省において感謝状を受彰されました。

刑務所出所者や保護観察中の人の更生に努め、自ら相談役を務める企業に出所者・保護観察対象者を積極的に雇い再犯防止に力を注ぎ更生に努めたとして受彰されました。

この感謝状は今回初めて制定され、全国で21名、中部管内で3名が選ばれました。

射水保護司会事務局日誌

平成28年

- 8月23日 第2期地域別定例研修会
自主研修会
- 8月25日 保護司候補者検討協議会
(12月新任分)
- 8月25日 県「協力組織部会」協議会
- 9月2日 県「研修部会」協議会
- 9月10日 「社会を明るくする運動」
市作品コンテスト選考会
- 9月13日 県「事務担当者等」協議会
理事会
- 9月14日 第2回地域処遇会議
- 9月18日 薬物乱用防止教室(金山小)
- 9月20日 県サポーターセンター協議会
- 10月12日 射水保護司会発足10周年
記念シンポジウム
顕彰式典
- 11月16日 富山県更生保護事業関係者
暴力追放富山県民大会
「社会を明るくする運動」
市作品コンテスト表彰式
(ラポール)
- 11月26日 企画調整保護司打合せ会
- 12月2日 薬物乱用防止教室(片口小)
- 12月6日 第3期地域別定例研修会
自主研修会
理事会
- 12月8日 県「総務部会」協議会
- 12月9日 県「更生保護団体連携強化研修」
三役会
- 12月13日 「富山更生保護」編集委員会
- 12月15日 「富山更生保護」編集委員会

平成29年

- 12月24日 サポーターセンター射水大掃除
- 1月10日 三役会
- 1月12日 薬物乱用防止教室(大門小)
- 1月13日 薬物乱用防止教室(中太閤山小)
- 1月17日 薬物乱用防止教室(東明小)
- 1月17日 薬物乱用防止教室(塚原小)
社会貢献活動
(七美ことぶき苑)
- 1月19日 「富山更生保護」編集委員会
- 1月20日 薬物乱用防止教室(作道小)
- 1月24日 薬物乱用防止教室(太閤山小)
- 1月25日 保護司候補者検討協議会
- 1月27日 県「広報部会」協議会
- 2月7日 第3期定例研修会
自主研修会
- 2月13日 三宅陸夫氏受章祝賀会
新任・退任保護司歓送迎会
- 2月13日 薬物乱用防止教室(堀岡小)
- 2月14日 薬物乱用防止教室(歌の森小)
- 2月14日 薬物乱用防止教室(下村小)
三役会
- 2月16日 薬物乱用防止教室(小杉小)
- 2月17日 中部保護司会連合会理事会
- 3月7日 理事会
- 3月7日 三役会
- 3月14日 「富山更生保護」編集委員会
- 3月15日 県保護司代表者協議会
- 3月17日 県保連理事会
- 3月28日 企画調整保護司打合せ会

退任に寄せて

三宅 陸夫

今年度も新任保護司が決まり、私は二十四年間務めた保護司を退任することになりました。

「年々歳々、人同じからず」と申しますが保護司も人も変化を遂げ、なかでもサポーターセンターの設置は、情報という概念の新しい価値観を示してくれたいと言えるのではないのでしょうか。

それぞれ異なった対象者に対処するには色々な経歴の持ち主が集まった保護司の過去の経験が大いに役立っていると思います。

二十四年間いろいろな事がありましたが「ヒト中は業」も体験させてもらい、自分の反省につながったことも多くありました。

私は最近になって耳が遠くなり、皆

様に迷惑をおかけすることが少しずつ増えてきました。いよいよ人生の最終章に入ったものだなあと感じる今日この頃です。

こんな意味もあって、二年前から学生時代によくやっていた卓球を始めました。後期高齢者になってから始める卓球は、面白くたくさん仲間と楽しんでいきます。主に六十才以上が主体ですが、社会貢献活動の観点からも、ボケ防止やリハビリに役立ち、医療費の削減につながっていると思います。

最後に更生保護というボランティアを通じて豊かな人生を与えていただき、本当に有難うございました。感謝の心をもつて定年の日を迎えたいと思います。年々犯罪が多様化しておりますが、射水保護司会が今後益々充実した会になりますよう祈念いたします。
(平成二十八年十一月)

編集後記

たくさんの方々のご協力で、「保護観察を考えるシンポジウム」を無事終了することができました。お世話になりました皆様方に深く感謝を申し上げます。また、「社会を明るくする運動」作品コンテストには優秀な作品を多数応募いただき、関係者一同嬉しい悲鳴をあげていました。どうもありがとうございました。

サポーターセンターへの相談ことも増えていきます。どうぞ、お気軽にお越しください。

保護司の異動・退任(敬称略)

○新任保護司(平成28年12月20日付)

志村 慧雲(小杉) 瀧田 孝吉(大島)
高橋 久和(大門)

○退任保護司(平成28年12月19日付)

前野 昭次(片口)
三宅 陸夫(太閤山)

敬弔(謹んでお悔やみ申し上げます)

○名誉保護司

佐野 昌男(7月) 尾山 成義(12月)